

「 見てない所で土砂災害防止 」

静岡県 静岡市立清水第六中学校 1年 寺田 龍矛<sup>てらだ たつむ</sup>

ぼくの母が働いている会社は建設業で、特に災害防止や災害後の復旧工事が中心の会社です。その中でも法面<sup>のりめん</sup>と呼ばれる斜面の保護工事が主な仕事です。法面とは、山や道の道路の横にある斜面のことで、大雨などで崩れないようにとても大切なことでコンクリートや植生<sup>しょくせい</sup>を使って土が流れ出ないようにすることで土砂災害を防ぐことができます。

最近では、日本各地で大雨や台風による土砂災害が増えています。テレビのニュースでも、崖崩れや道路が途中で切れて通れなくなったり、住宅地への土砂流入の映像を見たりすることが多くなりました。気候変動の影響か、短時間に大量の雨が降る「線状降水帯」が発生することもあり、予測が難しくなっています。このような災害が増えているため、母への工事の依頼も増え、多忙な日々が続いてるそうです。災害の復旧工事だけでなく、災害を未然に防ぐための予防工事の必要性も高まっているのです。

ぼくは、母から仕事の内容や大変さをよく聞きます。崩れそうな斜面に入って作業することは危険ですが、地域の人達の安全を守るためにとても大切な仕事だと母は言います。例えば、土の斜面に植物を植えて根で固定したり、金網やコンクリートで覆ったりと、場所によってさまざまな方法があります。地形や土の質、水の流れを考慮して最も効果的な方法を選ぶ必要があり、専門的な知識や経験が求められるようです。

ぼくたちの暮らしは、自然の影響を大きく受けています。特に山や川の近くに住んでいる人達は、常に土砂災害の危険と隣り合わせです。もし大雨が降って土砂が崩れてしまったら、多くの被害がでてしまい、たくさんの命が奪われてしまう可能性があります。だからこそ災害を防ぐための備えが必要なのです。

さて土砂災害を防ぐには、どのようなことに気をつければよいのでしょうか。土砂災害防止のためには、工事だけでなく、日頃からの意識もとても大切になってきます。例えば、自治体が発表しているハザードマップを見て、危険な場所を確認し、いざというときすぐに逃げられるようにしたり、避難経路を家族と話し合うのもとても重要なことです。また、地域の防災訓練に参加したり、雨の日には、早めに避難をするかどうか、すばやく判断したりすることを身につける必要があります。

ぼくは今回改めて仕事のことについて聞いて思ったことが二つあります。

一つめは、工事はとても危険ということです。なぜかというと法面の工事で崩れそうな斜面に自ら入っていき工事をするからです。

二つめは、工事をしてくれる方々の強い思いです。

ぼくはこのような仕事は、怖くてできません。だから、こういう仕事は、みんなが安心安全にすごしてほしいという強い気持ちがないとできないと思います。ぼくは、このような仕事をしている母や会社の人達は、とても凄いなと、ぼくは、思います。これからは自分も、災害から身を守るための知識をしっかりと身につけ、もしもの時の為に備えようと思います。